

# 基礎スペイン語Ⅷ

科目ナンバリング SPA-108  
必修 1単位

モリス ハイメ

## 1. 授業の概要(ねらい)

今学期の全体目標は、会話でのコミュニケーションに重点をおいて、過去に起きた行動について話すことである。中心テーマは直説法の過去形であり、このテーマに沿って、言語修得に必要な4つのスキル(聞く、話す、読む、書く)を上達させよう。

期末には、学習した知識を応用して、過去の日常生活、過去の出来事、直近の行動について説明できるようにする。さらに過去の出来事を時制的に並べられるようにする。さらに未来形と命令形を学び、接続法の初歩も学習する。

## 2. 授業の到達目標

会話を高めるため、4人か2人の小グループで学習する。各授業で、オーディオビジュアルを使い、文法的なテーマを一つ提示する。学生はグループワークで練習した後、そのテーマについてペアで口頭の発表をする。

このコースではテキストを2冊使う。1つはオーディオビジュアルのクラスで使う基礎文法のテキスト、もう一冊の練習問題集は、文章作成と読解の練習をすることにより、学習した文法をより強化するために使う。この学習で(聞く、話す、読む、書く)の4項目のスキルアップを目指す。

学期の終わりには、各学生は過去の出来事、未来のこと、助言や依頼について話せるようになるだろう。

## 3. 成績評価の方法および基準

成績評価は2回のテストと、練習問題集からの宿題の評価による。

中間テスト 30%

期末テスト 40%

宿題 / 平均点数 30%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

ラテン文化センター横浜 CCLY グループワーク 「La Puerta al Español」

ISBN 978-4-600-00061-5 ラテン文化センター横浜

Hirosawa Okihito 「El Español Gramática y Ejercicios」

ISBN 978-4-560-09953-7 Hakusuisa

## 5. 準備学修の内容

学生は授業前にテーマについて読んでおくこと。

直説法過去形、直説法未来形、命令形の学習をすること。

## 6. その他履修上の注意事項

聴く力を身につけるために、スペイン語の歌を聴くこと。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・前学期の概要
- 【第2回】 現在と過去の習慣  
直説法線過去(規則と不規則活用)
- 【第3回】 無人称の動詞(不定詞/現在分詞/過去分詞)
- 【第4回】 直近過去の行動  
直説法現在完了①:規則過去分詞
- 【第5回】 現在に影響を与える過去の経験や行動について話す。  
直説法現在完了②:不規則過去分詞
- 【第6回】 点過去①:活用の仕方と使い方  
(規則活用動詞/3人称単数・複数不規則動詞)
- 【第7回】 点過去②:不規則活用動詞
- 【第8回】 中間テスト
- 【第9回】 テストの見直し  
直説法過去形の復習
- 【第10回】 直説法 現在完了/過去完了
- 【第11回】 未来形:規則・不規則活用
- 【第12回】 過去未来形:規則・不規則活用
- 【第13回】 命令形:肯定形/否定形
- 【第14回】 接続法現在形
- 【第15回】 期末試験